

「つながり」の業務内容とケアマネとの連携

「浜松市生活自立相談支援センターつながり」について

「浜松市生活自立相談支援センターつながり」にて所長を務めております青柳と申します。この度は、貴会広報誌掲載のお話をいただきありがとうございます。

2015年に『生活困窮者自立支援制度』が施行に伴い、浜松市より委託を受け生活困窮世帯に対する相談支援を開始しました。当事業の目的は①生活保護に至る前の支援、②生活保護脱却後に再度生活保護に至らないように支援することです。

当事業は『つながり』と『つながり浜北』の2拠点体制にて浜松市全域をカバーしています。

【支援対象】

- ・浜松市に現在いらっしゃる方（住民票の有無問わず）
- ・就労状況、心身の状況、周囲との関係性等により現に経済的に困窮している世帯。

【支援内容】

- ①相談支援：伴走しながら相談者とニーズに合った支援体制を構築します。
- ②就労支援：職業選択や面接準備等を支援し就職を目指します。
- ③就労準備支援：生活面、社会生活面、就労面の3領域に対して段階的に支援し、就職に向かう心身の準備をサポートします。
- ④家計改善支援：家計の見直しや各種滞納、債務等の解決に向かうよう支援します。
- ⑤一時生活支援：離職し住まいを失った方へ一定期間住まいや食事等を提供します。同時に就労支援や家計支援を実施しながら自立を目指します。
- ⑥キャリア形成支援：中学3年生に対して、将来を描けるよう学校や職場見学、マネーセミナー、進学対策講座等を実施します。
- ⑦浜松市学習支援：小学1年生～中学3年生に対して居場所の提供、学習支援を実施します。
- ⑧浜松市ホームレス巡回支援：ホームレスの方々を定期的に巡回し安否確認、必要な支援を提供します。

【相談支援の状況】

コロナ禍前は年平均600世帯の相談件数でした。コロナ禍移行は、相談者は急増し、2021年のピーク時では約2,600世帯からの相談となりました。現在もコロナ禍前の1.5倍程度の件数となっており、コロナ禍の影響はいまだに続いています。

【ケアマネジャーさんからの相談】

- ・単身高齢者で滞納や債務があり、介護保険等のサービスが使えず困っている。
- ・高齢の親が施設入所レベルであるが、同居の無職の子がおり共倒れしてしまいそう。

○上記は一例で。生活困窮状態にあり制度につながりにくい高齢者や同居の子の相談をいただきます。相談をいただいた際には、ご本人のニーズが何かを関係機関の皆さんと共に探りながら連携した支援を提供していきたいと考えています。

≪地図≫



浜松市中区元城町218-26 聖隷ビル1階
社会福祉法人 聖隷福祉事業団
浜松市生活自立相談支援センター つながり
E-mail tng0500@sis.seirei.or.jp



浜松市浜北区小林1272-1
浜松市ふれあい交流センター浜北1階
社会福祉法人 天竜厚生会
浜松市生活自立相談支援センター つながり浜北
E-mail sou-tsunagari@tenryu-kohseikai.or.jp

<https://www.seirei.or.jp/hq/facility/disabilities/tunagari/>

支部、包括の活動の紹介

中区支部

私たち中区支部メンバーが活動するエリアは、浜松市の中心部に位置しており、市民の約 30%が住む人口最大の区となります。人口だけでなく区域も広く、浜松駅付近のマンション棟が多い新興エリアから、少し離れた郊外の閑静な住宅街、以前からある商店街等々、エリアごとの住民や暮らしに特徴も多いです。そのためケアマネジャーとしても、様々なケースに出会える環境があります。支部活動のひとつとしては、中区主任ケアマネジャーの自主組織「竹千代会」と連携を図り、地域の課題分析、他機関・他職種とのネットワークづくりを進めております。またそこで上がった課題や中区ケアマネジャーの資質向上を図るべく、研修や勉強会など共同で実施しています。このように当支部では、中区で活動するケアマネジャーが地域の特徴を理解して、日々変化する暮らしや制度に対応できる知識や技術を身に付け、幅広い視点で適切なケアマネジメントが行なえるよう、支援活動に取り組んでおります。

中区地域包括支援センター

中区は、約 235,000 人の方が居住しています。

その中で 65 歳以上の高齢者は約 64,000 人で高齢化率は約 27%で、中心街から、高齢化率が 30%を超えている地域もあります。

地域包括支援センターは元浜、鴨江、佐鳴台、和合、板屋、高丘の 6 つがあります。

毎月「中区会」を開催し、情報の共有、各職種別に共同での研修開催、感染・災害時等に、支援が途切れないような整備などに取り組んでいます。また他機関との連携も大切にしています。

その取り組みの 1 つとして「中区支援ネットワーク」があります。地域課題に横断的に対応するための多職種連携を目的とし 2020 年度より開催しています。地域包括支援センター、障害者相談機関、社会福祉協議会、生活困窮者自立相談支援センター、地域包括支援センターが事務局となり、月 1 回程度共通課題に対する勉強会を通し顔の見える関係づくりを行なっています。

今後も地域の関係機関との連携を強化し、中区にお住いの高齢者が安心して暮らし続けられるよう支援していきます。



(センター長)

地域包括支援センター元浜	齋藤 一路女
地域包括支援センター鴨江	松井 健
地域包括支援センター佐鳴台	中村 寛之
地域包括支援センター和合	松山 美津代
地域包括支援センター板屋	神谷 頼延
地域包括支援センター高丘	石田 真規子

～地域包括支援センターの業務 Part3～

生活支援体制づくり協議体について

地域包括支援センターでは、連携・協働による資源の開発や充実を目的に、生活支援体制づくり協議体との連携に取り組んでいます。主には下記の内容となります。

- ・生活支援体制づくり協議体の運営支援
- ・地域の多様な主体への制度周知や情報提供等
- ・社会福祉協議会の生活支援コーディネーターと連携して、圏域の生活支援体制の整備

〈生活支援体制づくり協議体の背景〉

- ①2025年問題
- ②総人口に対する高齢者の割合増加
- ③核家族化の進行に伴い、ひとり暮らし高齢者が7割に増加
- ④認知症高齢者が急増
- ⑤支援が必要な高齢者が増加することで介護サービスなどの担い手不足

〈活動主体〉

- ・H28年度～30年度は地域包括支援センターが主で行い、圏域内での勉強会開催、圏域内の課題把握を行ってきた。R1年度より社会福祉協議会が主で実施している。

〈各圏域の協議体内容紹介〉

中区	元浜・鴨江	高齢者の閉じこもり予防を目的に、おでかけマップを作成。
南区	新津・芳川・三和	地区民児協に協力を依頼し、地域の高齢者の現状に関するアンケートを実施。居場所づくり活用や買物支援等の実施検討
東区	ありたま	ある自治会が所有している【憩いの家】をそのまま地域の居場所として活用について協議中。
西区	大平台・和地・雄踏	社会資源マップの充実を図るため、地域における様々な情報をマイマップに集約し、共有を図る。
北区	三方原	企業へ働きかけを行い、地域支援の担い手の確保に向け、協議中。
浜北区	しんぱら	移動支援サービスについて検討中。
天竜区	天竜	地区でアンケートを実施し、【困った時の連絡帳】作成。 他地区では家事支援事業について検討中。

〈課題〉

- ・住民主体を心がけ、【誰もが安心して過ごせる地域】をめざして支え合い活動を広げていく。
- ・幅広い世代からできるだけ多くの担い手を発掘し、また地域にある社会資源を有効に活用しながら住民とともに地域づくりに取り組んでいく。

令和5年度浜松市介護支援専門員連絡協議会通常総会報告

令和5年6月24日土曜日、当協議会の通常総会が開催されました。令和5年6月現在、会員数1080名。当日の出席者は、会場出席者29名、WEB参加者155名、書面表決181名、任意出席318名。

計683名で既定の過半数を超え総会が成立となりました。

【第1部 総会】

○議事

①第1号議案 浜松市介護支援専門員連絡協議会役員の改選について ②第2号議案 令和4年度浜松市介護支援専門員連絡協議会事業報告について ③第3号議案 令和5年度浜松市介護支援専門員連絡協議会事業計画について、担当役員より報告があり承認を頂きました。

○事務連絡

在宅連携センターつむぎより、業務内容の説明や令和4年度の事業報告がありました。

○感謝状授与

粟倉敏貴顧問が当協会の顧問を退任される事になりました。粟倉顧問は、長年顧問として、当協会の進展の為に尽力いただきました。多大なる貢献に対し、感謝状と記念品を贈らせて頂きました。

【第2部 研修会】

令和5年度第1回浜松市介護支援専門員連絡協議会研修会を

WEBにて開催しました。今回は講師に一般社団法人あたご研究所代表理事後藤佳苗様を講師にお招きし、「説明責任能力の向上に役立つ！支援経過記載ポイント」をテーマにご講義

いただきました。支援経過記載方法は、今まで法定研修でも

詳しく学ぶ機会がありませんでしたが、今回の研修では記載時に意識すべきポイントや実際の記載方法を教えて頂き、記録の重要性についても学ぶことができました。

今回の研修に参加されました皆様が、ご自身の事業所へ持ち帰り事業所内で共有し、居宅介護支援事業所の適切な運営につなげて頂きたいと思います。



—編集後記—

2023年6月5日台風2号の大雨が線状降水帯となり、天竜区では24時間降水量が、観測史上最大500mmの雨となりました。

あちこちの市道は崩落し、天竜区内70か所が通行できなくなりました。

私も山間部を4km～6kmもの道のりを迂回して時間をかけ訪問しています。

県道9号線は幹線道路ですので早く復興を願うばかりです。

ケアマネの部屋NO33号はいかがでしたでしょうか。ご意見やご要望がございましたら事務局までお寄せください。（介護保険課 fax053-450-0084）

今後、ますます充実したものになりますよう、関係皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

【広報委員会】（副会長）中村元美（中区）松井健（東区）若子有里（西区）色山さゆり

（浜北区）河合登志子、栗山朋美（北区）佐藤祐子（南区）下位彰吾（天竜区）鈴木久美子